



竹内やすひろ

# 市政報告

ヒットエンドラン通信



## 横浜市の電線の無電柱化推進計画 電線類を浅く埋設するための基準を緩和

横浜市における電線類の地中化事業は、昭和61年に国土交通省が策定した「電線類地中化計画」により開始され、現在は、「無電柱化推進計画」（平成16年～平成20年）に基づき、電線類の地中化を推進。電線類の地中化は、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上、都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性の向上等の観点からその必要性及び整備効果は大きく、一層の推進が強く求められています。

そして、平成28年4月1日より電線類を浅く埋設するため「電線等の埋設に関する設置基準」を国では緩和しています。

横浜市においても、国の基準を参考に道路占用許可基準を改正し、埋設深さを浅くすることで事業コストの削減を図ることにより、無電柱化を推進しています。「道路占用許可基準の改正による電線類の埋設深さの基準の緩和」の対象物件とは、電線及び「電気事業」・「電気通信事業」の対象管路で、改正内容では、埋設深さを従来に比べ「20cm」浅くできることとしています。



## 電線類の地中化を図ることにより様々な効果が

### 1 安全で快適な通行空間の確保

歩道上の電柱は道幅を狭めます。電線類の地中化を図ることにより、歩道が広く使え、歩行者だけではなくベビーカーや車椅子の人にも安全で快適な通行が可能となります。

### 2 都市景観の向上

電線類の地中化を図ることにより、地上にはりめぐらされた電線や林立する電柱がなくなり、美しい都市景観が形成されます。

### 3 都市災害の防止

電線類の地中化を図ることにより、地震や台風

などの災害時に、電柱が倒れたり電線が切れたりするなどの危険がなくなります。また、倒れた電柱に道をふさがれることもないため、災害時における緊急車両の通行にも支障がでないため、横浜市の防災対策に大きく貢献します。

### 4 情報通信ネットワークの信頼性向上

電線類の地中化を図ることにより、情報通信ネットワークの基盤となるケーブルが地中に埋設され、地震等の災害時における被害を軽減し、ネットワークの安全性・信頼性を向上させます。

電線などの共同溝方式等、様々な課題もあります。

横浜市における無電柱化の促進について、今後継続して調査研究してまいります。

横浜市議員

竹内やすひろ (たけうちやすひろ)

神奈川県政務調査事務所

横浜市神奈川区大口通り127-16コスガビル1F

TEL : 045-716-6822 FAX : 045-716-6823

ホームページ <http://takeuchi.180r.com>

E-mail [mail@takeuchi.180r.com](mailto:mail@takeuchi.180r.com)



市民・文化観光・消防委員会  
大都市行財政制度特別委員会  
公明党神奈川県本部 幹事長代理  
公明党神奈川支部 支部長  
防災士

公式ホームページ

<http://takeuchi.180r.com>



竹内やすひろ  
facebook

# 2020年に向けて 公明党の要望で市内外の道路整備が充実！

横浜市内では 2020 年度（平成 32 年度）開通予定の①**横浜湘南道路**（延長 7.5 キロメートル）②**高速横浜環状南線**（延長 8.9 キロメートル）が完成すると、横浜市街地から湘南地域を経て圏央道海老名ジャンクション、そして八王子ジャンクションへとつながります。また、③**横浜環状北西線**は、東名高速道路横浜青葉インターと第三京浜港北インターチェンジを結ぶ路線で、先に開通した④**横浜環状北線**に連結し、横浜北部から横浜市街地、東京湾岸道路につながります。⑤**新東名高速道路**も 2020 年度に御殿場海老名間が全面開通

予定（一部区間は 2017 年開通予定）で、物流の拡大や東名高速道路の渋滞緩和などが期待されます。

公明党市会議員団は、横浜市に要望すると共にこれまで国会議員との連携で国土交通省に対し高速道路整備の早期実現を訴えてきました。道路整備が拡充する事により、さらなる利便性の向上や物流の活性化による経済効果や観光産業活性化、安全安心な街づくりを支えるインフラ整備による防災ネットワークの強化に注目が集まります。

## 2020年道路マップ

